



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリー：変化をもたらす」 Rotary: Making a Difference

2017-18年度 RI会長／イアン H.S.ライズリー RI.D2590ガバナー／湯川 孝則 横浜旭RC会長／滝澤 亮

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



旭区民まつりにて熊本みかん販売



熊本自転車支援



ガールスカウトとクリーン作戦

2018年4月11日 第2331回例会 VOL. 49 No. 36

■司 会 副SAA 後藤 英則

■開会点鐘 副会長 佐藤 真吾

■斉 唱 我等の生業

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	21名
本日の出席率	77.78%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

宋、青木、北澤、滝澤、増田

■他クラブ出席者

増田 (横浜あざみ RC)、新川 (地区)

■ゲスト

伊吾田善行様 (NPO 法人地球 ACT かながわ)

柳澤 徹也様 (横浜銀行鶴ヶ峯店店長)

■4月誕生記念祝

齋藤 善孝会員 4.29

■会長報告

1) 滝澤会長が4/6(金)から入院されました。4/10(火)手術で5月中旬に退院予定との事です。経過が順調である事をお祈り申し上げます。その間は副会長である佐藤真吾が会長代行を務めさせていただきます。よろしくお願い致します。

2) 本日は大変風が強く雨が降ったり晴れたり荒れた天候となりました。会員の皆様におかれましては足元に十分お気を付け下さい。新入園・入学の時期になりました。先週・

今週で入園式・入学式が各所で執り行われていると思いますが思い立って横浜市内の児童生徒数をちょっと調べてみました。

○旭区の人口と市立小中学校児童生徒数 (平成29年5月1日現在)

人口／横浜市：3,733,807人

・旭区：246,130人 (18区の内5番目)

市立小学校児童数／横浜市：181,211人

・旭区：12,209人 (18区の内6番目)

市立中学校生徒数／横浜市：79,077人

・旭区：5,438人 (18区の内6番目)

出生数／横浜市：28,611人

・旭区：1,638人 (18区の内7番目)

この数字を見ると年齢が低くなるにつれて市内の順位が下がっていますので高齢化が進んでいるということが推察されます。二俣川駅再開発をきっかけに若年層世帯の流入を期待したい所です。

3) 本日の卓話者は、地球市民 ACT かながわ事務局長、伊吾田善行様で「現地の人々の自立を促進する国際協力」という題で卓話いただきます。伊吾田様よろしくお願い致します。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のおしらせ

○新横浜ロータリークラブ

日時 4月27日(金)夜間例会

点鐘 午後6時30分

場所 アルアイン

日時 5月17日(金)→16日(木)

創立記念夜間例会 点鐘午後6時

場所 大徳寿

日時 6月8日(金)～10日(日)移動例会

場所 フィリピン

■青少年委員会 新川 尚

○ガールスカウトクリーン作戦のお願い

神奈川県第102団団員長 吉田いづみ

本年もクリーン作戦を下記の通り実施いたします。お忙しいこととは存じますがご参加いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。4月下旬には二俣川にジョイナステラスがオープン予定ですが、今年も集合場所は二俣川改札口です。まずはご案内まで。

・日時 4月14日(土)

・集合場所 二俣川駅改札口付近

10時集合出発(小雨決行)

・解散 11時30分

・その他

火バサミ・ごみ袋等は用意致します。

■本山会員後任の柳沢哲也氏のご挨拶



横浜銀行の人事異動により鶴ヶ峯支店に転入しました柳沢です。自宅は旭区若葉台で、2年間東京都調布市に勤務しておりましたが、通勤も楽になり、地元に戻ってこれで喜んでおります。以前横浜泉RCに在籍しておりましたが、分らない事ばかりですので、皆様いろいろ教えてください。どうぞよろしくお願い致します。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

佐藤 真吾／①伊吾田様、お忙しい所、当クラブにお越し下さり有難うございます。卓話よろしくお願い致します。②本山さん、淋しくなります。新天地でのご活躍を祈念しています。柳沢さん、今後ともよろしくお願い致します。

ます。

田川 富男／滝澤会長の入院により、佐藤副会長をはじめ皆様にはご不安を与えますが、幹事として頑張りますので宜しくお願い致します。

吉原 則光／天候不順の折、伊吾田様、卓話いただき有り難うございます。よろしくお願い致します。

安藤 公一／①伊吾田様ようこそお出で頂きました。卓話宜しくお願い致します。②本山さん、お世話になりました。新天地でのご活躍をお祈り申し上げます。柳沢さん、これから宜しくお願い致します。

二宮麻理子／伊吾田様、本日の卓話よろしくお願い致します。

新川 尚／伊吾田様、本日の卓話宜しくお願いします。

大川 伸一／伊吾田善行様、ようこそおいでいただきました。本日の卓話を楽しみにしております。

市川 慎二／伊吾田様、本日の卓話よろしくお願い致します。

後藤 英則／伊吾田様、卓話よろしくお願い致します。楽し味です。

五十嵐 正／伊吾田さん、本日の卓話よろしくお願い致します。

関口 友宏／本山さんの退会を惜しんで。ご健勝でありますように。

佐藤 利明／①横浜市民ACT かながわ伊吾田事務局長様、本日の卓話よろしくお願い致します。②本山雄三様、今後のご活躍をお祈りします。又、柳沢徹也様ご入会をお待ちしております。

福村 正／①柳沢様をお迎えして！②4月からURのコマーシャルの舞台が左近山団地になっています。先月、商店街でロケしていました。

目黒 恵一／本山支店長在任中はいろいろお世話になりました。今後もガンバッテ下さい！

倉本 宏昭／①本山さん、これからもお元気で。柳沢さん、これからRCを楽しんで下さい。②伊吾田さん、本日はよろしくお願い致します。

兵藤 哲夫／太田幸治会員、土俵の女人禁制は相撲ファンとして一言！

須藤 亘／①伊吾田さま、ようこそお出で

下さいました。本日の卓話宜しくお願ひします。②本山会員、短い間ではありましたがお世話になりました。有難うございました。柳沢さん、今後とも宜しくお願ひします。

本山 雄三／後任の柳沢をよろしくお願ひします。無事、紹介ができてホッとしました。

■卓話

「現地の人々の自立を促進する国際協力」

○卓話者紹介 五十嵐 正

NPO 法人地球市民 ACT かながわの事務局長、伊吾田善行氏をご紹介します。

初めて伊吾田さんとお会いしたのは今から8年前2016年6月でした。その頃、私は高梨会員と話をすることが多くて、高梨会員はクラブの将来についてとても心配しており、どうしたら地域でロータリークラブの活動が認識され、会員を増やすことが出来るのか？その答えのひとつが活動のすみわけであります。それぞれの得意とする分野に傾注すること、いろいろな社会問題はその解決に取り組み実践しているNPOにまかせ、ロータリーがそれを支える方法が効率的ではないか、ファンを作り、地域企業を外部支援者として組織する。その過程から新会員を発掘する仕組みをつくり、NPOにはそのロータリーファンから資金や情報提供を支援するといった考え方です。その中から、高梨会員の紹介を経て二つのNPOに出会いました。一つがマリクリスティーン氏が代表を務める「アジアと女性と子どもネットワーク」であり、もう一つが本日お招きした地球市民の伊吾田さんです。二つともその活動は素晴らしい成果をあげられています。本日は伊吾田さんに、現在の活動状況についてお話し願ひします。

■認定 NPO 法人地球市民 ACT かながわ

事務局長 伊吾田善行様



○横浜旭 RC との協働活動

2017年7月14日、第1970例会に卓話ゲストとして招かれて以来、旭ふれあい区民まつり協働出展、温かいご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

○本日のメニュー

- ・今、世界では何が起きている？世界の現状
- ・なぜ国際協力が必要なのか
- ・なぜ教育支援が必要なのか
- ・認定 NPO 法人地球市民 ACT かながわ TPAK とは
- ・TPAK の現地の人々の自立を促進する国際協力とは
- ・ミャンマーの事例紹介
- ・ロータリークラブと NPO の協働の可能性

○自己紹介：伊吾田善行（いごたよしゆき）



横浜本牧生まれ。横浜育ち横浜就職。大学卒業後やっと人生について考える。人生一度きり、人の役に立つ人生を送りたい。そして世界の子どもの置かれている厳しい状況を知る。人を殺さない生きていけない子どもたちの存在。子ども達の為にいきようと決心。地球市民 ACT かながわの活動と理念に共感。企業経験無く PC ゼロ、語学ゼロ、やる気だけかわれ、2001年ボランティアとして参加。同年スタッフを経て、現在事務局長。

○世界では今、何が起きている？



○世界の現状

- ・世界の人口 65 億人 2050 年には約 100 億人
- ・日本の人口 1 億 2 千万人
- ・飢餓人口 8 億 5 千万人
- ・飢餓で亡くなる子ども 5 秒に一人
- ・世界の食糧を 100 とすると 20%の人が
その 80%を食べてしまっています

○貧困とは？

単にお金がないという事だけ？

教育、医療、福祉などの人間として当然国がしてくれるはずのサービスをうけることができない状態。自分の将来の選択肢（高校や大学へ行くこと、会社で働くこと等）に、そのチャンス（機会、可能性）すらない状態

○国際協力とは？

これらの課題の解決のために現地の人々のために活動するのが NGO の国際協力

* 国の国際協力 ODA は国益のため

○世界中に学校に行きたくても行けない子どもが何人いるか知っていますか？

6,000 万人

10 年前は 1 億人、20 年前は 2 億人

○学校に行けない理由

戦争、貧困、学校がない、親の理解がない、児童労働、家の仕事の手伝い、弟や妹の世話など。

○学校に行けないとどうなる？

タイ山岳少数民族の場合

- ・字が読めない、書けない、計算が出来ない
- ・自分の意見をうまく言えない
- ・情報が少なく物事の良し悪しの判断ができない、騙される
- ・人身売買の被害に遭う可能性が高くなる
- ・ストリートチルドレンになる可能性が高くなる
- ・まともな職に就くことができない
- ・マフィアに入り麻薬の密売、薬物中毒になり刑務所行き
- ・自分の子どもも後を辿り、貧困の連鎖から抜け出せなくなる

生きていくために教育が必要

○ TPAK 概要

設立～ 1993 年

経緯～タイの巨大孤児院を訪れた横浜在住の 3 人が「2,000 人の国籍のない子ども達」との出会いにより当会を設立

- ・海外～タイ、ミャンマー、
インドの子ども達の教育支援と自立支援

- ・国内～人材育成、震災復興支援、
（阪神、中越、東日本、九州）
- ・役員理事 7 名、監事 2 名相談役 7 名
スタッフ 5 名会員 700 名
（正会員 150 名、ボランティア 550 名）
- ・特徴～ボランティア力 10 代から 90 代まで
年間延べ 3,000 人以上参加
- ・協力～個人から小～大学、
企業 財団 行政県市 JICA 外務省

○ TPAK 理念

アジアの子どもたちが一人でも多く教育を受け、幸せで明るい未来を開くことができるように、そしてアジアの人々から学び共に支え合う思いやりの心をとおして私たち自身が日本にいてもう一度自分の足元を見つめ本当の豊かさを取り戻すことができるよう相互に地球市民社会の実現を目指しています。

○ TPAK 憲章

世界の平和を考えるのであれば、私たちはまず自分の足元を正し、幸せな社会のために自分自身を役立てていかなければなりません。私たち TPAK は国際協力を富める国から貧しい国への一方通行の援助とは考えていません。国際協力活動を通じて、日本にいる私たちや若者たちが途上国から学び、視野を広げ、本当の豊かさを取り戻すことができるよう相互に地球市民社会の実現を目指していきます。

TPAK活動国地図



海外活動概要

タイ since 1993	ミャンマー since 2001	インド since 2005
山岳少数民族の子ども達の教育支援 課題：国籍、貧困、差別 ▶ 学校舎 建設 ▶ 奨学金制度など ▶ 成果：延べ15,400名	少数民族の子ども達の教育支援 課題：軍事政権、貧困 ▶ 学校・保健館 ▶ 孤児院生活改善など ▶ 成果：延べ10,800名	貧農村部アウトカーストの女性自立支援 課題：貧困、男女差別 ▶ 健康改善 ▶ 人材育成、安全な村作り ▶ 成果：延べ5,600名

25年の成果：教師になって戻ってきた卒業生たち

国際協力のゴール：TPAKの国際協力は地域にある課題を地域の人々が自らの力で解決できるよう自立を促進する支援です。



国内活動概要



○ミャンマー連邦共和国

少数民族の子ども達への教育支援を通して地域コミュニティの組織化と自立支援、現地の人々の自立を促進する国際協力

東南アジアは、多民族、多宗教の国家で形成されています。近年民主化に向けて歩み出しているミャンマーは135の民族を有し、紛争の絶えない国です。その中で子ども達の教育は主権者であるビルマ族の住む中央と少数民族の住む遠隔地との格差が大きく、そのことがまた次の紛争を生む火種になっています。しかし学校舎の建設など単に供与するだけの支援を行えばそれは依存を生む結果となってしまうのです。

私たちTPAKが、ミャンマーで行う国際協力「コミッティー・アプローチ」は、村人の持つ力を信じ彼らの持つ伝統文化を大切に学校舎建設の資源を建設材料から人力も含め、できる限り地域で調達して、村全体が協働して完成させることによってコミュニティの内発的発展を即し、自立的で持続的な開発につなげていくことができます。この効果を隣村、地域、多民族、国全体へと伝播させていけば

ミャンマーの国を底から支える力となって、平和国家、平和社会の礎となるはずです。

このことによりミャンマーの抱える少数民族と教育の格差の二つの課題が平和構築に向けて同時に解決されていくことになります。



ミャンマー概要

- ・ ミャンマー連邦共和国 (Republic of the Union of Myanmar)
- ・ 面積…68万平方キロメートル (日本の約1.8倍)
- ・ 人口…5,141万人* (日本の約半分) *2014年9月現在
- ・ 産業…農業 (稲作) 65%、商業9%、製造業5%
- ・ 民族…ビルマ族 (約69%)、**135の少数民族**
- ・ 言語…ミャンマー語 (公用語)、各少数民族の言語
- ・ 宗教…**仏教 (90%)**、キリスト教、回教等

歴史と内政

- ・ 第二次世界大戦中は日本と密接な関係を持っていた
- ・ 戦後、日本は最貧国、ミャンマーはアジアで一番豊かな国へ
- ・ 1948年：100年を超えるイギリス支配から独立⇒紆余曲折⇒社会主義体制へ
- ・ 1988年：全国的な民主化要求デモ発生 ⇒軍事政権が武力で鎮圧
- ・ 1990年：総選挙が実施 国民民主連盟 (NLD)が圧勝⇒認めず軍政維持
- ・ 2003年：民主化に向けた7段階の「ロードマップ」を発表
- ・ 2005年：政府は、首都機能をヤンゴンからネービードーに移転
- ・ 2007年：全国的な僧侶のデモが発生「サフラン革命」
- ・ 2008年：サイクロン・ナルギスがミャンマー・南西部を直撃
- ・ 2010年：総選挙が実施されたが軍政維持 ※アウンサンスーチー解放
- ・ 2011年：新政府が発足し民政移行
- ・ 2012年：議会補欠選挙が開催NLDが45中43議席
- ・ 2012年：テインセイン大統領訪日、オバマ大統領渡緬
- ・ 2013年：アウンサンスーチー来日、50年ぶりに日刊新聞発行
- ・ 2015年：総選挙にてNLDが圧勝し民主化したかに思われたが…

ミャンマー北東部 南シャン州 少数民族の居住区における活動

経緯

- 2001年…当会関係者より打診があり現地調査実施

体制

- 協力団体…少数民族バオ族自治政府
- 現地協力者…エイエイタン氏（元教員）



実績

- 2002年…中学校建設実施、以来
保育園・学校建設22校、寮建設4棟、診療所建設2村、
給水事業4村など、これまで計33のプロジェクト実施

バオ民族について（1991年に軍政と平和協定）

- 人口：100万人 居住区：シャン州南東部
- 自治政府：PNO (Pa-O NATIONAL ORGANIZATION)
- 指導者：ウーアムカムティー(元僧侶)
- 宗教：仏教（ほぼ100%） 一生に一度は出家する
- 生活：農業（にんにく、豆、とうもろこし、煙草の葉）
- 平均年収：5万円
- 日課：瞑想
- 主食：米
- 特徴：まじめで勤勉、明るく温和、
助け合いの精神を持っている



バオの人々の生活：集落



バオの人々の生活：家屋



バオの人々の生活：91年以降、平和となり子どもが産めるように



○課題

国家

- 民政移管されたが中身は軍事政権のまま
- 人材不足（教育不足）、少数民族との和平
- 少数民族の地域ではインフラ整備はすべての村が行われなくてはならない。水道、電気、道路、病院、学校など、しかし平均世帯年収は5万円

教育面

- 校舎～村人が建てた竹製の校舎で老朽化が激しく
雨期には半年間、授業が不能
- 教師～村が雇った中卒の子どもが教師
教育レベルが低い
- 教材～貧困のため新しい教材が買えない

ミャンマー少数民族自治政府より要請

旧校舎 村人が竹で建設



地域コミュニティの組織化「建設委員会設立」

僧侶、長老衆、村長、若人衆他により構成→全ての建設工程の主体



村の基金設立

収穫した野菜を供託し基金とし校舎の基礎を建設する



基礎建設

全村民がボランティアで建設作業に参加する



学校建設

TPAK会員の会費、寄付、助成金などにより建設。実施は建設委員会。



事業完了

完成した小学校校舎の落成式。全村人と喜びを分かち合う。



○新校舎建設の成果

- ・耐久性のある校舎により、子どもたちの安全の確保
- ・雨期でも授業可能、衛生的な環境により、健康面の確保
- ・規程をクリアすると政府の公認校となる
- ・政府から教育大学を卒業した教師の派遣教育の質が向上する
- ・生徒の勉学意欲、教師の指導意欲が教条
- ・両親の理解向上教育への理解、衛生意識

建設委員会が自立することにより、村の他の事業を自主的に行える

内発的発展を促進する自立支援→現地の人々の自立を促進する国際協力



TPAKミャンマー教育支援プロジェクト

2018年度は保育園建設プロジェクト

- 目的：ミャンマー語教育、雨風凌げる校舎への改築
- 場所：シャン州タウンジー郡ザレー村
- 予算：350～400万円（建設資材費、大工左官日当、現地スタッフ人件費、モニタリング渡航費、事業運営費、管理費、他）



○ロータリークラブとNPOの協働の可能性

- ・RCの強み
歴史、社会的信頼性、地域に根差した活動、行政、企業との連携、ネットワーク、大人としての正しい生き方
- ・NPOの強み
国際協力のプロフェッショナル
異なる層のボランティアの参加
- ・NPOの弱み
社会的信頼性、認知度、地域性、行政、企業との連携不足
常に「ヒト、モノ、カネ」不足
解決策は真の信頼関係を礎とした真の連携
「同じ釜のご飯を食べ、共に汗を流す」
次の世代の子どもたちに堂々と胸を張って託せる社会を一緒に創りましょう！

■次週の卓話

4/25 (水)体験例会 中田 幸子様
週報担当 大川 伸一

平成30年度3月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	安藤公一	100	0	100	21	大川伸一	67	33	100
2	安藤達雄	-出席規定免除-			22	齋藤善孝	67	33	100
3	青木邦弘	100	0	100	23	佐藤真吾	67	33	100
4	福村正	100	0	100	24	佐藤利明	100	0	100
5	後藤英則	100	0	100	25	関口友宏	100	0	100
6	兵藤哲夫	-出席規定免除-			26	宋謹衣	67	33	100
7	市川慎二	100	0	100	27	須藤 亘	100	0	100
8	五十嵐正	100	0	100	28	田川富男	100	0	100
9	北澤正浩	100	0	100	29	滝澤亮	100	0	100
10	今野丁三	-出席規定免除-			30	内田敏	-出席規定免除-		
11	倉本宏昭	-出席規定免除-			31	矢田昭一	-出席規定免除-		
12	増田嘉一郎	67	100	167	32	吉原則光	-出席規定免除-		
13	目黒恵一	100	0	100	33				
14	本山雄三	100	0	100	34				
15	新川尚	100	132	232	35				
16	二宮麻理子	67	33	100	36	高梨昌芳	名 誉 会 員		
17	二宮登	100	0	100	37				
18	岡田清七	-出席規定免除-			38				
19	太田勝典	-出席規定免除-			39				
20	太田幸治	-出席規定免除-			40				
例会日	7日	14日		28日					平均
例会出席率	$\frac{28}{29}$	96.55%	$\frac{28}{29}$	96.55%	$\frac{22}{27}$	81.48%			
修正出席率	$\frac{29}{29}$	100%	$\frac{29}{29}$	100%	$\frac{29}{29}$	100%			100%